令和７年度事業報告

令和７年　４月　１日から

令和８年　３月３１日まで

公益財団法人
阿蘇地域振興デザインセンター
ASO DESIGN CENTER

（総　括）

当財団の公益事業の活動指針を定めた「中期計画」に基づき、「人材育成」「関係人口」「伴走支援」を重要なキーワードとして事業を実施しました。

特に、少子高齢化が進展する中、将来にわたり「住み続けられる阿蘇づくり」を進め、現在より少ない人口でも、多様性に富んだ成長力のある社会を構築していくことが求められています。このため、そのベースとなる地域振興や観光振興の核となる若い世代を対象とした人材育成の強化を図りました。また、高校生を対象に地域愛の醸成を図るとともに、地域の将来を担うきっかけづくりとしてキャリア教育にも取り組みました。

観光面については、熊本県へのＴＳＭＣの進出を契機に増加している台湾からの来訪者を主なターゲットとして新たなインバウンド事業（観光庁補助事業）に取り組みました。

一方、国内旅行者に向けては、「デジタルバッジキャンペーン」の実施や、「女子旅ＥＸＰＯ２０２６」に出展するなど、ターゲットに応じた施策を展開しました。また、情報発信の核である阿蘇ＤＣホームページをより魅力的なものにするため、デザインを刷新するなどリニューアルし３月末に公開しました。

１　人材育成

昨年度に引き続き、熊本大学の協力のもと、「第５期あそ未来創造塾」を開講し、地域が抱える多様な課題に挑戦するビジネスプランの創出と、それを支える強固なネットワーク構築を推進しました。５期目となる令和７年度は、１４人の塾生が参加し、質の高いビジネスプランが提案されました。

観光まちづくりを担う人材育成を目的とした「阿蘇地域観光リーダー育成講座」に１５人が参加し、各地域の現状・課題分析を行い、各地域の集客力向上・消費拡大に向けた様々な観光プロジェクトの企画が生まれました。受講生の中には、既に企画を実現している方、あるいは実現に向けて取り組んでいる方もおられ、一定の成果をあげています。

これらの二つの講座の修了生同士がつながるネットワーク化が進んでおり、阿蘇の未来を創造する確かな「根っこ」として着実に成長しています。

２　関係人口

熊本県へのＴＳＭＣの進出に伴う波及効果を阿蘇地域にも取り込んでいくことが求められており、また、人々の働き方の変化により、より魅力的な地域を選ぶ傾向が顕著になりつつあります。こうした状況を踏まえ、東京及び福岡で移住定住相談会を開催しました。

３　伴走支援

あそ未来創造塾及び阿蘇地域観光リーダー育成講座の修了生に対しては、起業や事業継続に向けた「独り立ち」支援として、関係機関の紹介、地域活性化の事例紹介及び相談対応など、きめ細やかな伴走支援を行いました。

４　その他

新たな阿蘇らしいアクティビティの創出として、登山と地域産業を結びつける「デジタルバッジキャンペーン」を昨年度に引き続き実施しました。リピーターに加え新規参加者を獲得することで、参加者が大幅に増加し、キャンペーン協力施設への誘導が奏功し観光消費額も増加しました。

Ⅰ　令和７年度　決算概要

区　　分	金　額（千円）
収 益 合 計　①	９９，９０６
（内訳）	
資産運用益	８３，８１０
受取国庫補助金	１２，５００
受取地方公共団体補助金	２，０００
受取負担金（※） ※竹田市、高千穂町、高千穂町観光協会	１，４７１
雑収益	１２４

費 用 合 計　②	１００，８２１
（内訳）	
事業費	８３，７３４
管理費（※） ※理事会費を含む	１７，０８６

当期収益費用差額　③（①－②）	△９１５
期首一般純資産　④	５７，２１３
期末一般純資産　⑤（③＋④）	５６，２９８

＊ 表示単位未満を切り捨てとしているため、内訳を合計したものと、収益合計・費用合計が一致しない場合があります。

Ⅱ　評議員会・理事会・幹事会の開催について

１　評議員会

法律並びに定款に定められた重要な事項を決定する評議員会を４回開催しました。

・第１回評議員会（書面決議）

①開 催 日　　令和７年４月１８日（金）

②同意事項

議案第１号　理事の選任について

議案第２号　評議員の選任について

議案第３号　議案第１号から議案第２号の提案を可決する旨の評議員会の決議があったとみなされる日は、令和７年４月１８日とすることについて

・第２回評議員会

①開 催 日　　令和７年６月２３日（月）

開催場所　　熊本県庁　防災センター　３１１会議室

②報告事項

報告第１号　令和６年度事業報告について

③審議事項

議案第１号　令和６年度貸借対照表及び損益計算書（正味財産増減計算書）の承認について

議案第２号　「公益財団法人阿蘇地域振興デザインセンター役員及び評議員候補者選出規程」の一部改正について

議案第３号　任期満了に伴う理事及び監事の選任について

議案第４号　任期満了に伴う評議員の選任について

④そ の 他　　令和７年度事業計画、収支予算について

・第３回評議員会（書面決議）

①開 催 日　　令和７年７月１４日（月）

②同意事項

議案第１号　理事の選任について

議案第２号　評議員の選任について

議案第３号　議案第１号から議案第２号の提案を可決する旨の評議員会の決議があったとみなされる日は、令和７年７月１４日とすることについて

・第４回評議員会（書面決議）

①開 催 日　　令和７年１１月１１日（火）

②同意事項

議案第１号　理事の選任について

議案第２号　議案第１号の提案を可決する旨の評議員会の決議があったとみなされる日は、令和７年１１月１１日とすることについて

２　理事会

当財団の運営に関する事項を決議する理事会を６回開催しました。

・第１回理事会（書面決議）

①開 催 日　　令和７年４月１０日（木）

②同意事項

議案第１号　令和７年度第１回評議員会の開催について

議案第２号　議案第１号の提案を可決する旨の理事会の決議があったとみなされる日は、令和７年４月１０日とすることについて

③報告事項

報告第１号　人事異動に伴う役員の就退任について

・第２回理事会
①開 催 日　　令和７年６月６日（金）
②場　　所　　阿蘇草原保全活動センター　草原学習館
③審議事項
議案第１号　令和６年度事業報告について
議案第２号　令和６年度会計決算報告及び監査報告について
議案第３号　令和７年度第２回評議員会の開催について
④報告事項
報告第１号　「公益財団法人阿蘇地域振興デザインセンター役員及び評議員候補者選出規程」の一部改正について
報告第２号　人事異動および退職に伴う役員の就退任について
報告第３号　任期満了に伴う理事及び監事の就退任について
報告第４号　任期満了に伴う評議員の就退任について
・第３回理事会
①開 催 日　　令和７年７月１１日（金）
②場　　所　　阿蘇草原保全活動センター　草原学習館
③審議事項
議案第１号　理事長及び副理事長の選定について
議案第２号　令和７年度第３回評議員会の開催について
④報告事項
報告第１号　理事の就退任について
報告第２号　評議員の就退任について
・第４回理事会（書面決議）
①開 催 日　　令和７年１０月３１日（金）
②同意事項
議案第１号　令和７年度第１回会計補正予算について
議案第２号　令和７年度第４回評議員会の開催について
議案第３号　議案第１号及び議案第２号の提案を可決する旨の理事会の決議があったとみなされる日は、令和７年１０月３１日とすることについて
③報告事項
報告第１号　理事の就退任について
・第５回理事会（書面決議）
①開 催 日　　令和８年３月１３日（金）
②同意事項
議案第１号　「公益財団法人阿蘇地域振興デザインセンター賃金規程」の一部改定について
議案第２号　議案第１号の提案を可決する旨の理事会の決議があったとみなされる日は、令和８年３月１３日とすることについて
・第６回理事会
①開 催 日　　令和８年３月１９日（木）
②場　　所　　阿蘇草原保全活動センター　草原学習館

③審議事項

議案第１号　令和８年度事業計画について

議案第２号　令和８年度会計予算について

議案第３号　公益財団法人　阿蘇地域振興デザインセンター事務局長の選任について

④報告事項

報告第１号　理事長職務執行状況報告について

報告第２号　第５期中期計画策定の進捗状況について

３　幹事会

当財団の事業運営に関する事項を協議し、意見を具申する幹事会を３回開催しました。

・第１回幹事会

①開 催 日　　令和７年５月２２日（木）

②場　　所　　阿蘇市役所内牧支所　大会議室

③協議事項

１）令和６年度事業報告について

２）令和６年度会計決算報告について

④報告事項

１）人事異動および退職に伴う役員の就退任について

２）任期満了に伴う理事及び監事の就退任について

３）令和７年度第２回理事会・第２回評議員会の開催について

・第２回幹事会

①開 催 日　　令和７年１０月２１日（火）

②場　　所　　阿蘇草原保全活動センター　草原学習館

③協議事項

１）令和７年度第１回会計補正予算について

２）令和８年度予算について

④報告事項

１）理事の就退任について

２）令和７年度第４回理事会・第４回評議員会の開催について

・第３回幹事会

①開 催 日　　令和８年２月２４日（火）

②場　　所　　阿蘇市役所内牧支所　大会議室

③協議事項

１）令和８年度事業計画について

２）令和８年度会計予算について

３）阿蘇地域元気再生支援事業実施要綱の一部改正について

④報告事項

１）第５期中期計画策定の進捗状況について

２）令和７年度第５回理事会の書面決議について

３）令和７年度第６回理事会の開催について

公益財団法人阿蘇地域振興デザインセンター（以下、阿蘇ＤＣ）の中期計画に基づく令和７年度の事業実施状況は次のとおりです。

事業番号 （中期計画における取組み番号）	事業の内容	個別事業名 （中期計画における取組内容）	決算額 （単位：千円 ）
公１ （取組み１）	豊かな自然による世界ブランドの確立 ～阿蘇草原の維持・再生～	ア　草原再生 PR 事業 （１－①草原再生保全支援事業）	４，５０５
		イ　野焼き支援事業 （１－②野焼き支援事業）	１，５０１
		ウ　阿蘇産品の振興 （１－③阿蘇資源の発掘とブランドマネジメント）	２５６
		エ　世界ブランド事業の推進 （１－④世界ブランド事業の推進）	１２，５０３
		公１　事業費計 （公１に係る人件費を含めた事業費計）	１８，７６６ （２２，４０２）
公２ （取組み２）	地域の元気再生による地域力向上	ア　地域元気再生支援事業 （２－①住民主体による地域活動の支援）	４，９５７
		イ　的確な情報の発信 （２－④情報の一元化と戦略的な情報発信）	２，９２６
		ウ　阿蘇回帰運動への取り組み （２－③阿蘇ファン拡大に向けた取組み）	１，４０７
		エ　人材育成事業 （２－②地域づくりを担う人材の育成）	５，６８５
		公２　事業費計 （公２に係る人件費を含めた事業費計）	１４，９７６ （１８，８０５）
公３ （取組み３）	広域連携による競争力のある観光地づくり	ア　新たな阿蘇資産の構築・推進 （３－①付加価値の高い新たな阿蘇資産の創出）	５，４４６
		イ　何度も訪れたくなる観光地域づくり （３－②何度も訪れたくなる観光地域づくりの推進）	６，３４７
		ウ　広域連動型観光まちづくり事業 （３－③市町村広域連携による観光地域づくりの推進）	２５，９９４
		公３　事業費計 （公３に係る人件費を含めた事業費計）	３７，７８９ （４２，５２６）
		公１～公３　事業費合計 （公１～公３に係る人件費を含めた事業費合計）	７１，５３１ （８３，７３４）

＊ 表示単位未満を切り捨てとしているため、事業費合計と一致しない場合があります。

≪公益目的事業１≫
豊かな自然による世界ブランドの確立～阿蘇草原の維持・再生～
（取組み１　地域資源を磨きあげる）

阿蘇特有の草原をはじめとした豊かな地域資源を阿蘇地域全体の活性化につなげていくため、地域資源を発掘し、維持・継承を支援するとともに、世界に通じるブランドとして確立するための取組みを実施しました。

ア 草原再生ＰＲ事業

○阿蘇草原保全支援システムに基づく負担金

草原景観維持の施策を地域統合的に検討・実施する目的で熊本県主導により構築した「阿蘇草原保全支援システム」に基づく（公財）阿蘇グリーンストックへの負担金。

（主な取組み）

- 草原ボランツーリズム事業（草原ＰＲ、関係構築）
- 地元小学生等の草原環境・体験学習事業
- 阿蘇草原保全普及啓発事業（パネル展、ワークショップ）
- ＡＳＯ草原フェスティバル２０２５

イ 野焼き支援事業

○阿蘇草原保全支援システムに基づく負担金

草原景観維持の施策を地域統合的に検討・実施する目的で熊本県主導により構築した「阿蘇草原保全支援システム」に基づく（公財）阿蘇グリーンストックへの負担金。

（主な取組み）

・野焼き支援事業（野焼きボランティア支援、初心者研修会等）

ウ 阿蘇産品の振興

○「販路開拓・拡大キャンペーン」事業

・阿蘇道の駅物産館マップ

阿蘇地域には６つの道の駅があり、物産館や直売所も多数あるため、道の駅や物産館などを巡る周遊ツアーの造成を目的として作成した阿蘇道の駅物産館マップを 10,000 部、増刷しました。

エ 世界ブランド事業の推進

○阿蘇ジオパーク推進協議会への負担金

平成２５年５月の「世界農業遺産」の認定、平成２６年９月の「阿蘇世界ジオパーク」の認定、阿蘇世界文化遺産登録推進などの動きを踏まえ、関係団体と連携を図り、世界に通じるブランド確立に向けて活動している阿蘇ジオパーク推進協議会への負担金。

（主な取組み）

・再認定審査に向けた日本ジオパーク委員会国内事前調査対応
・地域啓発及び教育活動（ジュニアジオガイド講座、探究授業、地域活動等）
・ジオツーリズムに関する活動
・保全活動及び研究支援活動（ジオサイト調査等）
・国際社会への阿蘇のＰＲ活動

≪公益目的事業２≫
地域の元気再生による地域力向上
（取組み２　人を育て活動を支える）

地域元気再生支援事業により、地域イベントや観光プロモーション事業など、多岐に渡る地域力向上に資する取組みを支援しました。

観光情報ポータルサイトＡＳＯＮＡＶＩ（阿蘇ナビ）については、車や人の流れを掴むためのライブカメラの設置場所を追加しました。

また、阿蘇地域のＣＡＴＶや福岡のエフエム放送などの身近な媒体及びＳＮＳを活用した情報発信にも取り組みました。

５期目を迎えた「あそ未来創造塾」については、本年度も熊本大学と連携し、阿蘇地域の次代を担う人材の育成を図るとともに、地域の課題解決に向けた「地域づくりセミナー」を３回開催しました。

ア　地域元気再生支援事業

○阿蘇地域元気再生支援事業（資料１）

地域の元気再生による地域力向上をめざし、地域の自然、文化・歴史、産業等の特性を地域資源として活用し、魅力ある地域づくりと地域の活性化を図る取組みを行う市町村及び団体等に対する助成を行いました。

【助成事業数１１件】

①阿蘇市

・長寿ケ丘公苑つつじ上部除草等整備
（長寿ケ丘管理組合）

②南小国町

・収穫が終わったばかりの田んぼでお米を味わう「米 Fes10 周年記念事業」
（南小国町米 Fes 実行委員会）

・きよらの郷 秋の合同コンサート
（きよらの郷秋の合同コンサート実行委員会）

③小国町

・おぐに映画の森（英 Oguni Forest of Films）
（小国組）

・宮原祇園社大祭 奉納獅子舞及び奉納夜市
（宮原祇園社大祭奉納夜市実行委員会）

・杖立温泉×杖立川「川端 de さわがナイト」
（杖立温泉かわまちづくり実行委員会）

④産山村

・申請なし

⑤高森町

・観光ビックデータを活用したイベント・プロモーション事業
（一般社団法人 高森観光推進機構）

⑥南阿蘇村

・下田西野宮神社の歴史文化を掘り起こし次世代に継なげる事業
（下田西野宮神社を盛り上げる会）

⑦西原村

・八王社例大祭鬼神どんまつり
（宮山八王社例大祭まつり実行委員会）

・西原村 夏まつり 2025
（西原村商工会青年部）

⑧山都町

・そよ風パーク薪ボイラー用道路舗装工事・カーポート（屋根付き）設置工事
（山都町）

イ　的確な情報の発信

1　観光情報ポータルサイト「阿蘇ナビ」と関連コンテンツの管理・運営・保守

阿蘇地域の観光施設におけるオーバーツーリズムの解消に向けて設置している阿蘇パーキングライブカメラを４箇所に追加設置し、「阿蘇ナビ」（ＡＳＯＮＡＶＩ）で情報発信しました。

また、「阿蘇地域デジタルバッジキャンペーン２０２５」や「あそ未来創造塾」の活動を発信しました。

【閲覧回数】

・令和７年度　２６，８９５ＰＶ（前年度比６，３０９件、３０．６％増）
・令和６年度　２０，５８６ＰＶ

2　阿蘇ＤＣホームページの管理・運営・保守（資料２）

阿蘇地域元気再生支援事業や各種セミナー、イベント情報などを発信しました。

また、より魅力的なホームページにするため、デザインの刷新及びサイト構造の見直しなど、リニューアルし３月末に公開しました。

【閲覧回数】

・令和７年度　１７，６４７ＰＶ（前年度比１，２５８件、７．７％増）
・令和６年度　１６，３８９ＰＶ

※当財団ＨＰ　https://asodc.or.jp/

3　身近な情報媒体などでの情報の発信

（１）ＣＡＴＶやＳＮＳ等を活用した情報発信事業

阿蘇地域のＣＡＴＶ（たかもりポイントチャンネルやエフエム小国「おぐチャン」を活用し、「あそ未来創造塾」や「観光リーダー育成講座」などの塾生募集や修了式の発信を行いました。

その他、報道機関に「観光リーダー育成講座」のプロジェクト発表会をリリースしたところ、ＮＨＫで取り上げられ放映されました。

また、地域づくりセミナーや阿蘇地域デジタルバッジキャンペーンなど、ＳＮＳを活用しながらタイムリーな情報発信を行いました。

（２）ＳＮＳ繁体字版構築事業（資料３）

台湾向けのＳＮＳとして、繁体字版フェイスブック（Facebook）の情報発信を週に２回ペースで行いました。

また、FaceBook で発信した内容をもとに、「熊本阿蘇深度旅遊指南」（情報誌）を 1,000 部発行しました。

【フォロワー数】

１１，４３９人（令和８年３月末）（前年度比５，０４１人、７８．８％増）

６，３９８人（令和７年３月末）

【リーチ数】※投稿を見た延べ人数

・令和７年度　１，３２３，７２７人（前年度比７４９，２３１人、１３０．４％増）

・令和６年度　　５７４，４９６人（推計値）

４　情報誌の制作（資料４）

阿蘇ＤＣの活動状況を掲載した情報誌『aso lulu【アソルル】』第２６号を発行しました。（発行部数：３，０００部）

※当財団ＨＰからご覧いただけます。

https://asodc.or.jp/archives/asolulu/vol_26

ウ　阿蘇回帰運動への取組み

１　大都市圏における関係人口相談事業

台湾の大手半導体企業であるＴＳＭＣの熊本県への進出を契機に、半導体関連産業の集積が進み、人口増加が期待されるなか、阿蘇地域にもその波及効果を取り込んでいくことが求められています。

また、働き方の変化により、魅力的な地域を選ぶ傾向が顕著になりつつあります。こうした状況を踏まえ、東京及び福岡で移住定住相談会を開催しました。

（１）阿蘇地域移住定住相談会＆観光ＰＲイベントｉｎ福岡

①期　日：令和７年６月２９日（日）～３０日（月）

②内　容：〔２９日（日）〕

・阿蘇地域の移住・定住担当者による相談会を開催
（福岡市交流文化創造拠点ＨｉＲａＫｕ）

・来場者　１１０人

〔３０日（月）〕

・福岡のローカルＦＭ「ＣＯＭＩ×ＴＥＮ」に出演し、各市町村の魅力を生放送でＰＲ

（２）九州・山口・沖縄移住フェア暮らシゴト２０２６

①期　日：令和８年１月２４日（土）

②場　所：東京交通会館（１２階ダイヤモンドホール）

③内　容：阿蘇ＤＣ、阿蘇市、南小国町で出展し、担当者による相談を実施。
（相談者数　２５人）

④来場者：３１９組４３３人

２　阿蘇地域移住定住研修会

各市町村担当者のスキルアップ及び情報交換を目的に、先進的な考え方や取組みに関する課題と対応策に関する研修会を開催しました。

（１）研修会（熊本）

①期　日：令和７年１２月４日（木）
②場　所：阿蘇市農村環境改善センター
③講　師：國學院大學観光まちづくり学部　　嵩　和雄　准教授
④内　容：【講　演】

ⅰ　人口減少と地域活力の維持が喫緊の課題となる中、自治体担当者が移住・定住促進を効果的な施策へとつなげるための視点やノウハウ、全国的な動向について

ⅱ　移住希望者が抱く「田舎」に対するイメージとのミスマッチを解消する方策として、写真やＡＩを活用した情報発信の手法の紹介

ⅲ　行政と地域住民をつなぐ中間支援組織の重要性について

【グループワーク】

市町村の移住・定住担当者による「選ばれる地域」の条件について

（２）研修会（福岡）

①期　日：令和７年６月２９日（土）
②場　所：福岡市交流文化創造拠点ＨｉＲａＫｕ
③講　師：株式会社ビーワゴン代表取締役　田中　徹氏
④内　容：福岡圏域における移住に関する意識調査の結果をもとに、阿蘇地域が高い移住関心を集める一方で、利便性や仕事、住まいの確保が移住実現の大きな課題であること等についての研修。

エ　人材育成事業

１　あそ未来創造塾

「あそ未来創造塾」は、令和３年度から熊本大学の協力のもと、地域課題を解決する地域イノベーションをおこし、地域に生きる格好いい大人を発見・育成し、進学や就職で阿蘇を離れた子供たちが帰ってきたくなる環境を創出することにより、本格的な人口減少社会を迎える中でも、持続可能な阿蘇地域を創造していくことを目的として開催しています。

５期目となる令和７年度は、１４人の塾生を迎え、７月１０日（木）のオリエンテーションから２月２１日（土）の修了式まで、１４日間にわたり実施しました。

各塾生は、地域課題について考え、地域が抱える多様な課題をビジネスで解決するという未来創造塾の趣旨に沿った多様なビジネスプランを作成しました。また、併せて塾生同士が繋がり新たなビジネスを視野に入れたネットワーク構築を推進しました。

（１）あそ未来創造塾（資料５）

①期　日：令和７年７月１０日（木）～令和８年２月２１日（土）　１４日間
②場　所：ホテルサンクラウン大阿蘇他
③参加者：１４人
【参考】これまでの塾修了生　６２人
（内訳）・令和７年度１４人　・令和６年度１４人　・令和５年度１２人
・令和４年度１１人　・令和３年度１１人

（２）あそ未来創造塾スプリングフォーラム（資料６）

４回目となる今回は、２月に修了した第５期生に加え、第１期から第４期までの修了生や起業に関心のある一般参加者が集う学びと交流の場を設けました。

当日は、姉妹塾である田辺市から２人のゲストを迎え、第１期修了生も交えながら「地域循環」をテーマとした講義とグループワークを実施しました。また、各期修了生による近況報告も行われ、互いの取組みを共有しました。

本フォーラムを通じて、修了生同士が連携しながら価値を創出していく「あそ未来創造塾」の強みである「つながり」と「循環」を、より一層深める機会となりました。

①期　日：令和８年３月２日（月）
②場　所：ホテルサンクラウン大阿蘇
③参加者：３４人

２　地域振興などに関するキャリア教育

（１）熊本県立小国高等学校（国際交流会支援）

①期　日：令和７年１１月２０日（木）
②場　所：小国高等学校体育館及び教室
③参加者：生徒４５人
④内　容：「地元のグローバル化」をテーマにLander Bryant Sims学長特別及び熊本大学の留学生８名と生徒による交流会を実施。

ⅰ　異文化理解を深めるとともに、将来のキャリア形成に向けて、生徒による英語での小国郷の魅力紹介や、留学生による自国の文化や大学での学びの発表を行いました。

ⅱ　実践的な英語活用の機会創出のため、総合的な探究の時間に生徒が制作した地域の特産品カタログギフトを英語で紹介し、留学生へプレゼントしました。

（２）熊本県立阿蘇中央高等学校（あそ未来創造塾修了生による地方起業家講座）

①期　日：令和８年３月１７日（火）
②場　所：阿蘇中央高等学校及び地熱珈琲（小国町）
③参加者：生徒４１人
④内　容：ⅰ　あそ未来創造塾修了生の山本美奈子氏による地熱珈琲の起業経緯等の講話及び珈琲豆の焙煎作業を体験しました。

ⅱ　あそ未来創造塾修了生の野中千夏子氏による木工職人としての起業経緯等の講話及び南郷檜を用いた箸作りを体験しました。

ⅲ　あそ未来創造塾修了生の青木千愛氏による旅行代理店の起業経緯等の講話及び阿蘇の地域資源を活かした観光体験商品の企画について、高校生同士でグループワークを実施しました。

３　地域づくりセミナー

（１）第１回地域づくりセミナー

①期　日：令和７年８月７日（木）
②場　所：南小国町のＦＩＬ、喫茶竹の熊、穴井製材所
③テーマ：「里山の豊かさを問い続ける」
④参加者：２４人
⑤講　師：株式会社Ｆｏｒｅｑｕｅ（ﾌｫﾚｯｸ）　ＣＥＯ　穴井俊輔氏
⑥内　容：製材業の現場から生まれた地域ブランドづくりの実践について、講義いただきました。講義では、在来の材木業が厳しさを増す中で、従来は廃棄されていた杉の葉から精油を抽出しアロマオイルとして商品化する取り組みや、その過程で生じる灰を陶芸の釉薬として活用するなど、地域資源を無駄なく循環させる独自の取り組みが紹介されました。

（２）第２回地域づくりセミナー

①期　日：令和７年１１月１５日（土）
②場　所：阿蘇市農村環境改善センター
③テーマ：「３つの世界ブランドが紡ぐ阿蘇の未来」
④参加者：４２人
⑤講　師：公益財団法人阿蘇グリーンストック専務理事　増井太樹氏
⑥内　容：阿蘇が誇る「世界文化遺産（登録推進中）」「世界ジオパーク」「世界農業遺産」の３つの世界ブランドの連携と地域の未来について考えました。前半では、それぞれの推進団体から取組状況の報告があり、文化遺産登録に向けた景観保全の取組みや、ジオパークおよび農業遺産に関する活動内容が共有されました。後半では、増井専務理事から「阿蘇の草原は誰が守ってきたのか」をテーマに講演が行われ、地域の草原維持の歴史や人々の関わりへの理解を深める機会となりました。今回のセミナーを通して、各分野の取組みを連携させながら、阿蘇の持続可能な地域づくりを進めていく重要性が再認識されました。

（３）第３回地域づくりセミナー

①期　日：令和８年２月２７日（金）
②場　所：阿蘇草原保全活動センター草原学習館
③テーマ：「阿蘇地域における南海トラフ地震への備え」
④講　師：熊本県危機管理防災特別顧問　　三家本勝志氏
　　Bosai Tech 株式会社代表取締役　大塚和典氏
⑤参加者：２０人
⑥内　容：ｉ　三家本勝志氏から南海トラフ地震は今後４０年以内に９０％の確率で発生するとされ、阿蘇地域でも震度６弱の揺れが想定されることが示されました。また、阿蘇地域は大分県・宮崎県からの広域避難者の受け入れや支援物資の集積拠点としての役割も担うこととなり、平時からの備えと連携体制づくりの重要性が語られました。
　　ⅱ　大塚和典氏から熊本地震の経験を踏まえた車中泊避難の実践的なノウハウが紹介されました。また、熊本市や崇城大学と連携して開発中のデジタル受付システムについても紹介があり、新しい避難者支援の形に会場から大きな関心が寄せられました。

≪公益目的事業３≫
広域連携による競争力のある観光地づくり
（取組み３　人や資源をつなげ新たな価値を生み出す）

昨年度に引き続き新たな阿蘇資産の構築を目的に、阿蘇地域でＤＸと連動したアクティビティとして「デジタルバッジキャンペーン」を阿蘇地域で実施しました。

国内旅行者向けとしては、「女子旅ＥＸＰＯ２０２６」（福岡市）に出展し、阿蘇地域の観光ＰＲと酒蔵の新酒の試飲会を行いました。

阿蘇くじゅう高千穂デザイン会議の関連では、インバウンド誘客や国内旅行者誘客を図るため、愛知国際展示場で開催された「ツーリズムＥＸＰＯジャパン２０２５」への出展を行いました。

広域連動型観光まちづくりにおいては、観光庁の「地方創生プレミアムインバウンドツアー集中展開事業」の採択を受けて、台湾の富裕層・リピーター層をターゲットにした阿蘇・高千穂地域の少人数・高付加価値の体験型ツアーを造成、台湾人モニターツアーでの検証、ファムトリップを実施し、富裕層向けの高付加価値ツアーとして、阿蘇～高千穂の広域観光ルートを確立しました。

また、観光まちづくり人材育成の一環として、５期目となる「観光地域づくりリーダー育成講座」を開講し、１５人が修了しています。

ア 新たな阿蘇資産の構築・推進

１　付加価値の高いアクティビティの構築

○デジタルバッジキャンペーン（資料７）

阿蘇地域の誘客と経済の活性化を目的に、登山地図ＧＰＳアプリ「ＹＡＭＡＰ」　を活用したデジタルバッジキャンペーンを、昨年度に引き続き実施しました。

今回で２回目となり、リピーターに加え新規参加者を獲得することで、参加者が大幅に増加しました。また、キャンペーン協力施設への誘導が奏功し観光消費額も増加しました。

なお、この事業は熊本県の「くまもと未来づくりスタートアップ事業」の助成を受けて実施しました。

①開　催　日：令和７年８月９日（土）～１２月７日（日）
②参加者数　：９，３２４人（R6：4,960 人）　前年度比８８．０％増
③観光消費額：３９，７３０千円（R6：27,600 千円）　前年度比４３．９％増
④そ　の　他：アンケートの結果、女性の参加者が前年度より７pt 増加し、４５％となっており、同様の取組みを行っている地域（静岡県、山形県）の３０％を大きく上回っている。
また、参加者の宿泊率は前年度より８pt 増加し、３１％となっており、そのうち阿蘇地域の宿泊者が９５％となっています。
参加者及び宿泊者が増加し、女性の割合も高いことから、今後の阿蘇観光の新たなモデルとして期待できます。

２　阿蘇エコツーリズム協会の支援

令和８年３月８日（日）に開催された同協会主催の南阿蘇の石積み文化をテーマとした「阿蘇サステナブルツーリズムシンポジウム２０２６」を昨年度に引き続き支援しました。

３　阿蘇山上ビジターセンター運営協議会の支援

阿蘇山上ビジターセンター運営協議会にオブザーバーとして参加するとともに、同協議会が行う情報提供等の活動に対し支援を行いました。

イ 何度も訪れたくなる観光地域づくり

１　国内旅行者誘客創出事業

（１）「女子旅ＥＸＰＯ２０２６」への出展（資料８）

・開　催　日：令和８年３月７日（土）
・会　　場：電気ビルみらいホール（福岡市）
・出　展　者：阿蘇ＤＣ、阿蘇市観光協会、ＡＳＯおぐに観光協会
・来場者数　：６８２人
・内　　容　：阿蘇地域の魅力を紹介するとともに、阿蘇市の観光施設や小国町で撮影された映画などの観光ＰＲを行いました。
また、女子旅向けの観光情報の発信にあわせて、阿蘇地域にある２つの酒蔵による「新酒」の試飲会を実施しました。

（２）各種ＰＲツール制作

【パンフレット】

阿蘇地域の観光資源を広く発信し、来訪者の増加及び地域経済の活性化を図ることを目的として観光パンフレットを作成しました。

○「とっておきの阿蘇」５０，０００部作成　（資料９）
○「わおマップ」　５０，０００部作成
○「ＡｓｏＴｒｉｐ」　１０，０００部増刷
○「阿蘇鬼マップ」　１０，０００部増刷

【ポスター】

○阿蘇地域ポスター　４８枚（８市町村×６枚）（資料１０）
観光イベント出展時等に活用するため、阿蘇地域８市町村ごとの観光ポスターを作成しました。

２　マイクロツーリズム事業

○阿蘇くまもと国際空港での観光ＰＲ事業

旅客ターミナル１階案内所前にある情報コーナーに、阿蘇地域に関する動画やパンフレットなどを設置しています。なお、定期的に棚卸を実施し、可能な限りフレッシュな情報発信に努めており、高森町に第２本社を置く株式会社コアミックスの首都圏向けの熊本グルメの情報誌（ポモドーロ）も併せて設置しています。

３　阿蘇地域観光推進協議会との連携事業

○「きらり冬あそ」（日本語版）　１０，０００部作成（資料１１）

観光閑散期における阿蘇地域への誘客、周遊促進を図るため、阿蘇地域観光推進協議会と連携を図り、冬の阿蘇ならではの魅力を紹介するパンフレットを作成しました。

４　拠点施設のライブ映像による人流創出事業

令和６年度に阿蘇地域の観光施設のオーバーツーリズム解消のため、リアルタイムで観光施設の混雑状況を映像配信するためにライブカメラを３箇所に設置しました。来訪者の評判が良かったことから、新たに４箇所へ設置しました。

なお、阿蘇くまもと空港と大津町ビジターセンターに、ライブカメラ用ＱＲコード案内チラシを引き続き設置し、ライブカメラへの誘導策を講じています。

【阿蘇パーキングライブカメラの設置状況】

・令和７年度　・大観峰　　・上色見熊野座神社
　　・道の駅　あそ望の郷くぎの　・俵山交流館　萌の里
　　・阿蘇中岳・草千里（自然公園財団阿蘇支部設置）
・令和６年度　・道の駅　阿蘇　　・新阿蘇大橋ヨ・ミュール
　　・道の駅小国　ゆうステーション

【ウ 広域連動型観光まちづくり事業】

＜阿蘇くじゅう観光圏事業・・・地域ＤＭＯ＞

観光地域づくりに関して地域が目指すべき方向性を企画・立案し、関係者との認識共有及び合意形成を行ない、かつ具体的な事業の実務を適正に実施するために必要な知識及び経験を有する観光地域づくりマネージャーが中心となって、観光圏整備事業（国際的に通用する地域ブランドの確立に向け、戦略的な観光地域づくりを推進する事業）をマネジメントし戦略的かつ一体的な観光地域づくりを推進することが求められています。

観光庁が主催する観光地域づくりマネージャー育成短期集中セミナーに道の駅阿蘇から１人派遣し、観光庁認定の観光地域づくりマネージャーを育成しました。

来訪者満足度調査を夏季・冬季に宿泊施設及び観光スポットにおいて、国内観光客とインバウンドを対象に実施した結果、昨年度より満足度が高くなりました。今後も調査結果を精査し、選ばれる観光地としてのさらなる高みを目指します。なお、調査結果については、宿泊施設や観光協会などにフィードバックします。

１　阿蘇くじゅう観光圏に関する事業

（１）阿蘇くじゅう観光圏マーケティング調査　※満足度調査（資料１３）
（阿蘇管内、竹田市、高千穂町対象）

（２）阿蘇くじゅう高千穂観光ツーリストマップ増刷　１０，０００部

（３）全国観光圏推進協議会事業

・全国観光圏推進協議会事業（研修会参加など）
・Undiscovered　Japan 情報発信事業
・観光庁認定観光地域づくりマネージャーの育成及びスキルアップ

（４）阿蘇地域資源クリエイターとのおしゃべり時間

・期　日：令和８年２月１２日（木）
・場　所：ホテルサンクラウン大阿蘇
・講　師：大正大学地域創生学部公共政策学科　柏木千春教授
　　阿蘇地域のクリエイター３人
・参加者：１６人
・内　容：セミナーを通じて新たな一歩のきっかけを見つけ、事業につなげることを目的に以下のとおり実施しました。
　　ⅰ　クリーエイターの活動紹介及びトークセッション
　　ⅱ　参加者同士によるグループワーク

２　九州３観光圏連携事業

九州３観光圏連携による連絡調整会議開催及び参加

３　阿蘇くじゅう高千穂デザイン会議の運営・支援

（１）阿蘇くじゅう高千穂デザイン会議総会

①開催日：令和７年７月４日（金）
②会　場：阿蘇市農村環境改善センター
③出席者：４４人
④内　容：ア　講演会
　・「欧米豪誘客における豊の国千年ロマン観光圏の取り組みについて
　　一般社団法人豊の国ロマン観光圏事務局長　堤栄一郎　氏
　イ　審　議
　・令和６年度事業報告、決算及び監査報告について
　・令和７年度事業計画及び事業予算について
　ウ　その他
　・令和６年度満足度調査の概要について

（２）「ツーリズムＥＸＰＯジャパン２０２５　愛知・中部北陸」への出展（資料１４）

①期　日：令和７年９月２５日（木）～９月２８日（日）
②場　所：愛知国際展示場
③出展者：阿蘇くじゅう観光圏（阿蘇ＤＣ、竹田市、高千穂町）
④来場者：１２７，６７７人
⑤内　容：阿蘇の雄大な自然景観や温泉、アウトドアアクティビティ等を紹介するパンフレットと映像を展示。来場者にはくまモンうちわとエコバッグを配布し、多くの方に阿蘇くじゅう観光圏の魅力をＰＲしました。
　　静岡文化芸術学部の学生（３人）にスタッフとして従事してもらいました。

４　阿蘇地域観光リーダー育成講座（資料１５）

魅力ある観光地域づくりをリードする「観光人材」を育成し、地域全体のレベルアップを図るため、各地域の情報収集や調査をもとに魅力的な商品企画を提案できる人材の育成に取り組みました。

５期目となる令和７年度は、市町村及び観光協会等から１５人が受講し、それぞれの地域資源を活かした旅行商品等を造成しました。

【参考】これまでの修了生　６０人
（内訳）　・令和７年度１５人　・令和６年度１１人　・令和５年度１２人
　　・令和４年度１２人　・令和３年度１０人

５　阿蘇バイクツーリズム台湾ＢｔｏＣ市場向けＰＲ事業

ＢｔｏＣ対策として、台湾の個人旅行客（ＦＩＴ）をターゲットに、既存の観光コースを活用し「バイク」を移動手段とする形でＰＲを実施しました。

大型バイク層（バイカー）ではなく、バイク大国である台湾の旅行者に馴染みのある小型バイク（125/50cc）の運転免許保持者（一般観光客）をターゲットに「旅のオプション」として活用する仕組みを構築し、半日又は１日で阿蘇地域の自然・文化を気軽に楽しめる台湾人目線のモデルコースを造成しました。

阿蘇管内の数箇所に設置されているレンタルバイクを活用するとともに、日本の交通ルールに対応できるよう、必要に応じて自動車学校でビデオ講習や実地指導が受けられる体制を整えました。

造成したモデルコースについては、台湾の旅行会社及び観光客向けにミニツアーを紹介しているＷｅｂサイトに掲載するとともに、阿蘇ＤＣの繁体字 Facebook でモデルコースの観光スポットを紹介しました。

６　地方創生プレミアムインバウンドツアー集中展開事業（観光庁補助事業）

〔高千穂から阿蘇へ。古代の『神の道』を辿る台湾向けプレミアム・ミニツアー造成事業〕

令和７年１０月１日（水）～令和８年２月２０日（金）の期間において、熊本県阿蘇市・南小国町・小国町・産山村・高森町・西原村・南阿蘇村・山都町、宮崎県高千穂町を周遊する、台湾の富裕層・リピーター層をターゲットにした少人数・高付加価値の体験型ツアーを造成しました。

具体的には、台湾の旅行会社に対する旅行商品説明会の開催やニュースレターの配信（約２，０００社）、台湾人ＫＯＬによるＳＮＳ発信（リーチ数１８．７万人）を展開するとともに、台湾の旅行会社３社及びＫＯＬ・一般消費者を招いたファムトリップ・モニターツアーを実施しました。

７　阿蘇ＤＣノベルティバッグ制作

「ツーリズムＥＸＰＯジャパン」や観光イベント配布用にノベルティバッグを作成しました。（１，０００個）

８　阿蘇ジオパーク推進協議会との連携事業

インバウンド対応の一環として、同協議会と連携して、発行物「阿蘇トリップ（AsoTrip）」の多言語化を行いました。

９　インバウンド向けＰＲツール制作

（１）「よかとこ」（英語版）　１，０００部作成

未来創造塾修了生の商品を広く周知するための冊子「よかとこ」の英語版を作成しました。

（２）Aso’s Winter Wonderland「きらり冬あそ」（英語版）9,000 部作成（資料１２）

観光閑散期における阿蘇地域への誘客、周遊促進を図るため、阿蘇地域観光推進協議会と連携を図り、冬の阿蘇ならではの魅力を紹介するパンフレット「きらり冬あそ」の英語版を作成しました。